

仮病の薬

奥原松助 (1897・M30) 字古堅 (4:17)

フユー^{むん はたら}な者^くぬ 働^{くる} ちゃー^{はな}なたん^しりる^あ 心^あ てー^あさい、
話^{はな}。こんなこと^あ有^あいびー^あたんよ。

まあ、下^ん男^{じゃ}二^た人居^いるば^をてー^をさい。御^ご奉^ぶ公^く人^{にん}ぬ^た二^い人^{にん}
居^をるば^をてー^をさい。うぬ^{ちゆい}一^ぐ人^ふぬ^く御^ご奉^ぶ公^く人^{にん}お^で大^じ事^りな^こ利^{こう}口^を
な^{むん}者^{むん}、フユー^{むん}な^{むん}者^{むん}やる^{ちゆい}ば^{ちゆい}てー^{ちゆい}さい。一^{ちゆい}人^{ちゆい}や^{ちゆい}また、じ
こー^{はたら}働^{はたら} ちゃー^{はたら}な^{はたら}たく^{はたら}と^{はたら}う、う^{はたら}りが^{はたら}く^{はたら}ぬ^{はたら} 働^{はたら} ちゃー^{はたら}ん
かい^{なら} 習^{なら} し^{なら}ぎ^{なら}さん^{なら}てー^{なら}さい。

習^{なら} し^{なら}よ^{なら}ぬ、「い^ぬや^ぬー^ぬや^ぬ何^ぬん^ぬなら^ぬん^ぬさ^ぬー」「何^ぬや^ぬが」
ん^ちゃ^ちく^ちと^ちう、「あ^いぬ^いだ^いー、少^いな^いー^いや^い 頭^いぬ^い痛^いむ^いん^いと^い
う^わか^わ腹^わぬ^わ痛^わむ^わん^わり^わち^わ寝^わじ^わー^わる^わん^わし^わえ^わー、あ^くぬ^く米^く飯^くん^く
食^かむ^かる^かむ^かん^かぬ。い^うや^うー、い^うち^うぐ^う 芋^う び^うけ^うー^うん^う食^うり。ち
ゃ^うー^うに^うー^うじ^うゃ^う 芋^う 食^うり、あ^うん^うし^うえ^うー^うあ^うら^うん^うさ^うー^うや^うー」
ん^り。「あ^やん^やし^や痛^やま^やん^や腹^や、痛^やむ^やん^やり^や言^いん^いな^いー」^いり^い言^いち
ゃ^やく^やと^やう、「痛^やむ^やん^やり^やね^やー誰^わが^わん^わ分^わか^わら^わん^わし^わえ^わー」^わり
ち^い言^いち^いゃ^いく^いと^いう^いよ^いー^いさい。「あ^いん^いし^いえ^いー、あ^いん^いる^いや^いん」
「と^わー、私^わえ^わ 明^あ日^あや^あ起^あき^あー^あく^あと^あう、あ^あん^あし^あえ^あー、い
や^にー^に寝^にり^によ^にー。腹^にぬ^に痛^にむ^にん^にち^に寝^にり^によ^にー」^にん^にち、「あ^ふん^ふ
し^ふ、本^ふ当^ふな^ふー、あ^わん^わし^わえ^わー私^わが^わ 明^あ日^ああ^あ寝^あじ^あゆ^あく^あと^あう、
あ^んし^んえ^んー、い^んや^んー出^んて^んい^ん草^ん刈^んて^んい^ん来^んよ^んや^んー」^んん^んち^んゃ
く^くと^くう、「う^むん」^むち^む、う^むぬ^むフユ^むー^むな^む者^むお^む、草^む刈^むい^むが^む行^む
ぢ^うえ^うー^うん^うて^うー^うさい。

あ^すん^すさ^すく^すと^すう、う^あぬ^あ主^あ人^あぬ^あ 女^あ 子^あぬ^あ、雨^あぬ^あ降^あいた^あ
く^うと^うう、其^う処^うん^うじ^うか^うん^うし^う立^うっ^うち^うよ^うー^うて^うー^うる^うば^うて^うー。
う^あぬ^あ雨^あ垂^あい^あぐ^あわ^あー^あん^あかい。ア^あサ^あギ^あぐ^あわ^あー^あぬ^あ 下^あ ン^あか^あ
い、立^あっ^あち^あよ^あー^あて^あい^あさ^あく^あと^あう、「異^あ風^あな^あ 話^あ す^あっ^あさ^あー」
ん^あち^あ聞^あち^あゃ^あー^あに^あ、う^あり^あ親^あん^あかい^あ言^あち^あえ^あー^ある^あば^あー^あで^あぎ^あ
さ^あん^あで^あー^あさい。

あ^しん^しと^しう^し 主^し人^しお^し、う^あぬ^あ 女^あ 子^あか^あら^あ聞^あち^あゃ^あー^あに^あ、
「と^いあ^いん^いし^いえ^いー、い^いや^いー^い良^いい^いむ^いん^い聞^いち^いえ^いー^いさ^い、く^いれ^い
な^いー、か^いん^いし^いさん^いあ^いれ^いー、此^い 達^いが^いー^いな^いー^い治^いらん。ち
ゃ^いー^いフユ^いー^いす^いん^いり^いや^いー^いに^い」^い直^いぐ^いヤ^いブ^いー^いぬ^い家^いん^いかい^い行^い
ぢ^い。

【共通語訳】

フユー（不精）な者が改心して働き者になったとい
う話ね。こんなことがありましたよ。

まあ、ある家に下男が二人いてね。奉公人が二人い
るわけです。その一人の奉公人は大変小利口な怠け者
であったわけです。もう一人はとても働き者であった
ので、このフユーな者がその働き者に教えたようだ
ね。

フユーな者が、「お前は どうしようもないなあ」と
言うと、働き者が「どういうことか」と聞いた。「たま
には頭が痛いとかお腹が痛いと言って休んだら、ご飯
も食べられるのに。お前はいつも不味い芋だけ食べて
いるじゃないか」ということだった。「だって痛くも
ない腹を痛いと言えるのか」と言うと、フユーな者は
「人の痛みは誰も分からないよ」と言ったわけだよ。
「そうか、それもそうだな」「そうさ、さあ、明日は私
が仕事に出るから、今度は、お前は腹が痛いと言って
休みなさいね」と。「本当にそれでいいのか、それじゃ
あ私は明日休むので、お前が草刈りをしてきてくれ
よ」と働き者が言って、「ああ」と、そのフユーな者が
草刈りに行ったようだ。

そんな話をしている時に、その家の娘が二人のいる
アサギ（離れ）の軒下で、雨宿りをしていたわけさ。
二人のそういう話を耳にして、「妙な話をしているな
あ」と、それを親に話したわけだ。

「そうか、お前は良いことを聞いたね」と、娘から
それを聞いた主人は、「下男たちはいつも怠けること
を考えているんだな。これはなんとかしないといけな
い」とヤブー（鍼灸師）の家へ相談に行った。

あんしやくとう、其処んかい行ぢやーに、「私た
ーうぬ異風な事、私た一使とーる童達 やっさ
ー」んち。「何が何やが」んちやくとう。「はー、いや
ーや。『痛まんていん腹ぬ痛むんち、いやー寝とーき
よーや。私あ草あ刈てい 来 くとう』んりやーに。今日
や、うぬ大変良う 働 ちゆぬ 童 があんまさんち寝
とーさー」んり。「あんやんなー」り。「うり、ちゃー
しん治ち呉らんあいねーなー大事でー」り言ちさく
とよーさい。あんさーい、ヤブーや、なー来に。

「いやー何が何ぬ痛むが」「腹ぬ痛むんさい」ん
ちて。あんさに、手 や 掴みらつてい、「んちや、くれ
ー腹熱」んち、「いやー腹熱出とーっさー」んり。「く
れーヤブーぬ家んじ、ヤブー頼り来んあれーならん
でー」りち、「とー、アンマー早くなーヤブー頼り来
わ、なー大事やさなー」りち。あんさーいさぐとよ、
だーあれーなー、あんまさんち寝とーし、直ぐ起きて
い 逃 ぎる 訳えならんしえーやー。

あんさい、ヤブーや 来 に 手 や 掴みやーに、「はっ
さびよー、くれーじこー熱れむん。なーくれーヤーチ
ユーンしつ、鍼 立ていらんあれーならんれー」り
ちよーさい。また直ぐ 鍼 立ていいなー、ちゃふい
んなーフーチん置ちきてい。なーわちやくどうやくと
うよーさい。わざつとよ 治すんちどうやくとよ、ちゃ
っぴなーヤーチューしえーぎさんてーさい、皆 掴み
てい。「アキサミヨーなーな、今からなーけー治とー
くとよなー、今から寝じゃびらんどー」し叫びーたん
りよーさい。

あんさーに、「いやー為なか、私ねー大事なたるむ
ん。いやーかい 習 し 破らりやーに、だー、胴 いっ
ぺー全部 鍼 立ていらつていヤーチューんさつた
しえー」り言やびーたんりよ。

また、うぬフューな者お「なー大事、なー寝じん
でしーねー、うんぐとよし焼かりーしえー」んりやー
によーたい。あんさい、二人 働 ちゃーなていなー、
大事んりやーに。大事な 働 ちゃーなたんりしがよー
さい。二人ぐーに、なー成功者なたんりぬ 話 ぬ有え
さびたんどー。

それで、ヤブーに、「うちの下男たちが変なことを
考えているようだが」と話し、「どういうことか」「あ
あもう聞いてくれよ。下男たちが、『今日は私が草を
刈ってくるから、お前は腹が痛いといって休んでおけ
よ』と企んだようで、いつも真面目に働いている下男
が、具合が悪いと言って、今日は寝ているんだ」と。
「そういうことか」「これを、なんとか治してくれな
いか」と前もって相談したわけだ。それでヤブーが主
人の家に来ることになったようだね。

主人が下男に「お前はどこが痛いのか」と聞くと、
下男は「お腹が痛いです」と答えた。主人は、その手
を掴んで「あら、これはお腹の熱、お前はお腹に熱が
あるよ」と言い、「これはもう大変だ。アンマー、早く
ヤブーを呼んできてくれ」と、妻に言った。そしたら
もう、下男は具合が悪いと言って寝ているのだから、
直ぐに起きて逃げることもできなくなってね。

そこにヤブーがやって来て、下男の手を掴んで、「あ
あ大変！これはすごい熱だ。これはもうお灸をして鍼
も立てないといけな」と言ってね。わざと鍼を立て
て、また大きな 艾 を置いてね。皆で下男を押さえて
大きなお灸をしたようだね。「アキサミヨーなーな！
もう治りましたから、これからはもう休みませんよ」
と叫んだって。

それで、「お前のせいで、私はひどい目にあった。お
前に変なことを吹き込まれて、見ろ、身体中に鍼を立
てられてお灸までさせられたんだぞ」と、フューな者
に言ったそうさ。

そしたら、そのフューな者も「もう大変、仮病を使
ったりしたら、あのようにお灸をされて大変だ」と言
ってね。お灸をさせられた下男と二人、一生懸命に働
いてね、二人とも成功したという話がありましたよ。